

防災まちづくりニュース

福祉

『防災 まちあるき』(後半) を開催しました!

ご参加頂いた
みなさま、ありがとう
ございました。

平成29年度から取り組んでいる「防災まちづくり」の一環として、9月2日に引き続き、9月24日(祝日)に『防災・福祉まちあるき』を開催しました。

今年度は、お住まいの町内ではない他の町内を歩き、**自分の町内との違いを確認**したり、昨年度に取り組んだ『路地の愛称』を確認するとともに、**高齢者の方の視点から災害につよいまちをつくることを考えるまちあるき**を開催しました。

まちあるき後は、まちあるきで確認した**路地や建物の状況**、防災上課題となる点等を振り返り、**災害につよいまちに向けて必要な取組**について意見交換しました。



「福祉」の視点から、歩行器や車いすを体験!



高齢者の聞こえ方や見え方を疑似体験!

昨年取り組んだ路地の愛称を確認!



防災上の課題や必要な取組を再確認!



ブロック塀のひび割れの状況等を確認!



台風の被害状況も確認!



車いす利用者の視点から路地の幅や段差を確認!



話し合ったことを発表し、みんなで共有!

『防災・福祉まちあるき』（後半）の主なご意見

◆『防災・福祉まちあるき』の感想等

- ・日頃、歩かない場所を目にすることは非常にためになりました。
- ・普段歩かない所も歩き、菊浜学区の様子が少しはわかりました。
- ・視点を変えたまちあるきで普段気付かない所も発見できて良かった。
- ・良い点、改善すべき点を自分の住んでいる地域と比較して考えられたことが良かった。
- ・防災の目線でまちあるきをすることが少ないため、良い経験になりました。
- ・地元の人の参加を増やしてやりたい。
- ・初めての参加でしたが深く勉強になりました。意識を持つ事が大事ですね。
- ・普段、こんなにもしっかりと確認することがないので良い機会でした。自分の住んでいる地域もゆっくりと歩いて確認していこうと思います。これを機に地域住民と市が協力して住みやすい町づくりをしてほしい。

◆今後の取組へのアイデア等

- ・防災の支援事業など知らないことが多く、周知にも取り組むべきだと感じました。
- ・古い家屋がこの辺は多いので、倒壊の危険性への対策も必要かと思います。
- ・今日、大地震が生じると仮定して、直ぐやるべきことを至急整理すべきだと思う。
- ・町内のつながりは本当に大切だと思う。個人の集まりであることは事実だけれど、最低限、町内会という団体行動を大切にしたい。
- ・町内単位より小さな3軒両隣の単位で災害時の事を話し合いすべき。
- ・ゲストハウスとの意識共有やブロック塀、段差、車いす利用者への災害時の助け合いについては今後も検討する必要があると思った。
- ・毎日のあいさつなど基本的なことから進めていきたい。
- ・地域住民や行政との意見交換の場は定期的に設けるほうが良い。



『防災まちづくり意見交換会』を開催します！

『防災・福祉まちあるき』を振り返り、災害につよい安全なまちをつくるための『防災まちづくり意見交換会』を開催します。『防災まちあるき』に参加された方も、参加できなかった方も、ぜひ、ご出席ください。

日時：夜7:30～（開催日は以下のとおりです）

場所：菊浜区民会館

11/13（月）	平南町、御影堂町、都市町、梅湊町、岩滝町、早尾町、波止土濃町、聖真子町、八ツ柳町、菊岡町、富高町、富浜町、鍵山町
11/16（金）	新日吉町、大宮町、十禅師町、八王子町、下二之宮町、下三之宮町、上二之宮町、上三之宮町、稻荷・若宮町

今後も引き続き、安全・安心に住み続けられる災害につよいまちを目指した取組を進めていきますので、「防災まちづくり」へのご理解・ご協力をお願いします。

①現状の把握（『防災まちあるき』など）、現状・課題の共有と対策の検討（意見交換会など）

②「すぐにできる対策」の実行
（危険ブロック塀の除却・改善 等）

市の助成制度
があります！

③『防災まちづくりプラン』
の検討・作成

④継続的な防災まちづくりの実践（計画・プランの実現に向けた継続的な取組）